接地端子ユニット　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項を「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
- ⚠ 気をつけていただく内容です。
- ⃠ してはいけない内容です。
- ❗ 実行しなければならない内容です。

■使用上のご注意

⚠危険

❗ 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。

❗ 導電部の接続ねじは表1の推奨締付トルクで確実に締付けてください。また、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めすると共に、定期的に増締めしてください。ねじが緩んでいると発熱・火災のおそれがあります。

表１．推奨締付トルク

ねじの呼び	締付トルク N・m
M5	2.0～2.5
M8	5.5～7.0
M10 ※1	13.0～20.0

※1. ドライバー以外の工具で締付けるねじに適用する。

⚠注意

⚠ 改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。

⃠ 接地以外の目的では使用しないでください。

⃠ 次のような場所では使用しないでください。感電・火災の原因となったり、錆・腐食・割れが発生するおそれがあります。
・高温、高湿となる場所　・腐食性ガスのある場所
・可燃性ガスのある場所　・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所
・振動、衝撃のある場所　・有機溶剤、切削油、薬品等のかかる場所
・塩分を多く含んだ環境　・極度に塵埃やオイルミストが多い場所
・導電性粉塵（カーボン繊維、金属粉）のある場所
・水滴のかかる場所

■機種、名称、寸法

●接地端子ユニット

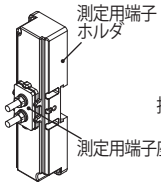
寸法:mm

品名記号	外形寸法			銅バーサイズ	取付穴寸法		ねじサイズ	摘要
	タテ	ヨコ	タカサ		A	B		
BP46-100U(G)	140	36	50	t3-20	131	27	M8	100A(38mm²)用接地端子
BP46-200U(G)	158	42	50	t4-25	149	33	M10	200A(100mm²)用接地端子
BP46-ST(G)	140	36	48.5	t3-20	131	27	M5	接地測定用端子

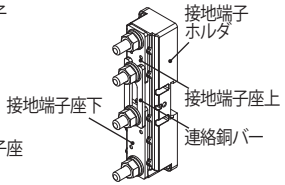
接地種別ラベル

E_A	E_B	E_B	E_B	接地極側
E_D	P	C	$E_A E_D$	E_C

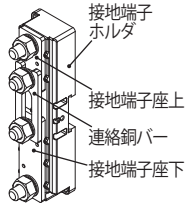
付属品
- 丸タッピンねじ　2種 … 2本（4×16）
- 接地種別ラベル　… 1枚
- 取扱説明書（本紙）　… 1枚



BP46-ST

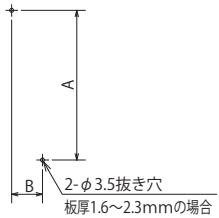


BP46-100U



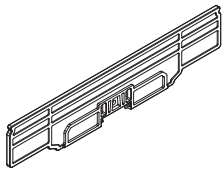
BP46-200U

取付穴寸法



●セパレータ

品名記号	外形寸法(mm)		
	タテ	ヨコ	アツミ
BP46-1US	250	52	8.8



付属品
・Pタイトねじ(4×10)・・・ 2本
・取扱説明書(本紙) ・・・ 1枚

■使用方法

●接地端子ユニット

取付方法

1.直接取付
取付穴寸法に従って穴加工を行い、付属のタッピンねじで固定してください。

2.IECレール取付(図1,2)
側面からIECレールを挿入することで、レール取付が可能です。

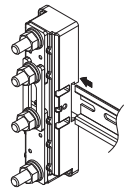


図1

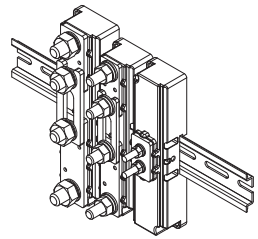


図2

連絡銅バーの切離し(BP46-100U,200U)

連絡銅バー上下のナットを緩めるとバーが切離せます。(図3,4)

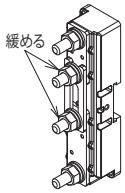


図3

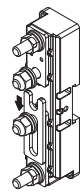


図4

接地種別ラベルの貼付(BP46-100U,200U)

接地端子座下の中央に接地種別ラベルが貼付可能です。(図5,6)

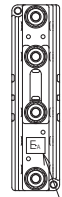


図5

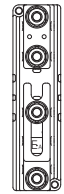


図6

その他の使用方法(BP46-100U,200U)

1.ボルトとナットの入替え(図7,8,9)
裏側より端子座を固定しているねじ(M3×10)を外すことで、ボルトとナットを入替えて使用できます。
(推奨ボルト長さ:バーの厚さ+15mm)

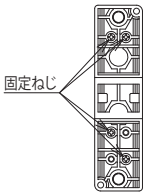


図7

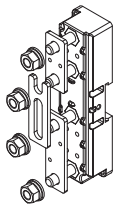


図8

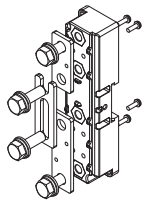


図9

2.ボルト貫通(図10,11)
上下二箇所のボルト底面がノックアウトになっていますので、そこからボルト貫通を行ってください。
(推奨ボルト長さ:50mm)

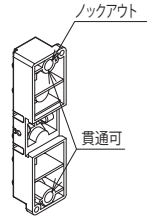


図10

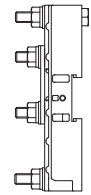


図11

●セパレータ

取付方法

1.直接取付(図12)
セパレータ突起部が端子ホルダ側になりますので、方向に注意して付属のPタイトねじ(4×10)で固定してください。

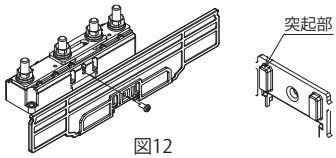


図12

2.IECレール取付(図13)
側面からIECレールに挿入可能です。

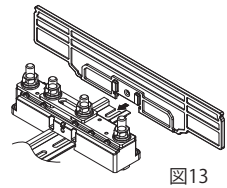


図13

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社のお客様相談室にお問合わせください。
この取扱説明書の内容は2012年4月現在のものです。

日東工業株式会社
© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL (0561) 64-0152
http://www.nito.co.jp